

2023年2月15日

報道関係各位

Green Tokyo 研究会
一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会

ウォーカブルが創造性を刺激するまちへ 多様な快適に過ごせる場所、地上・地下一体のまち歩きルートの提案

環境データを活用した快適なまち歩き WEB サービス 「TOKYO OASIS」 社会実験を2月15日（水）より再始動

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり3団体（*）の一つである一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会が事務局を担うGreen Tokyo 研究会では、「緑」「GIS」「都市気象」「グリーンインフラ」に関連する民間企業や行政間等の連携により、都市環境の総合的な評価システムのプラットフォーム構築を目指しています。

今回、Green Tokyo 研究会では、快適なまち歩きを提案するWEBサービス「TOKYO OASIS」の社会実験を2月15日（水）より大手町・丸の内・有楽町（以下、だいまるゆう）地区にて再始動します。



「TOKYO OASIS」は、「大丸有環境アトラス（大丸有地区の環境情報等をデータベース化し、新たな価値の発信につなげる情報プラットフォーム）」をリアルタイムに可視化・シミュレーションし、“快適に過ごせる空間（ルート・場所）”の情報を発信するWEBサービスです。

2020年夏の社会実験では、現在地から“OASIS SPOT（＝快適に過ごせる場所）”までの快適な日陰ルートを検索できるサービスを提案し、2021年夏にはさらに「座れる場所」や「樹木情報」、「降雨予測」、3種のルート検索（日なた／日陰／最短）のサービスを追加提案してきました。

今回の再始動では、これまでのサービス利用者の声を踏まえ（1）より多様な“快適に過ごせる場所（OASIS SPOT）”の表示、（2）地上・地下一体となったまち歩きルートの検索等の機能や情報表示を追加。これらの追加サービスを活用し、五感を刺激する実空間のリアルなまち歩きを楽しんでいただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の流行から3年が経過し、人々に求められるまちの在り方が大きく変化する中、Green Tokyo 研究会では、これからのまちの魅力や価値などを「TOKYO OASIS」を通じ模索してきました。本再始動をもって、これまで同様に利用者の声の収集・分析を継続しながら、まちと人をつなげ、新たなまちの魅力や価値の発見を通じて、持続可能かつ感性や創造性を刺激するまちづくりを目指していきます。

大丸有地区にて、ぜひアップデートしたWEBサービス「TOKYO OASIS」をご活用ください。

（*）「一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会（リガール）一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会）」の3団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

追加された新しい機能・情報

■ 1：より多様な“快適に過ごせる場所（OASIS SPOT）”の表示

これまでの利用者の声で多くの支持を得ているのは“快適なルート検索”、“OASIS SPOT 表示”です。

そこで都心部のウォーカブルなまちづくりに向けて“快適に過ごせる場所（OASIS SPOT）”を見直し、より多様な人々の視点から快適性を模索するため、今回は大学生の視点から改めてまちの魅力的な空間や快適に過ごせる場所を現地調査、サービスへの情報追加を実施しました。

その結果、まちでアートを感じる空間“まちアート”や歴史を感じることができるスポット、地上と地下をつなぐサンクンガーデン、地下道の魅力的な空間などの“OASIS SPOT”が約 100 箇所から約 300 箇所に拡充しました。

また、ルート検索の際に、ルート付近の“OASIS SPOT”がオススメとして提案される機能をアップデート。大丸有地区を歩きながら、今まで気づかなかったまちの魅力を“OASIS SPOT”の発見と共に楽しみください。



■ アップデートされた内容

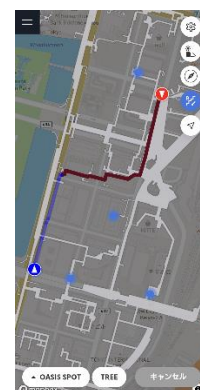
- 多様な“快適に過ごせる場所（OASIS SPOT）”の表示
- 検索したルート付近にあるオススメの“OASIS SPOT”を提案

■ 2：地上・地下一体となったまち歩きルートの検索

大丸有地区はエリア全体に地下道が張り巡らされており、これまでの利用者の声からも地下道のルート検索機能について期待がありました。多種多様な人々が様々な交通手段で訪れる本地区では、まち歩きを地上と地下道を併せて検討する必要性があると考えました。

そのため今回のアップデートでは、地上ルートに地下道を含めた、地上・地下一体となったシームレスなルート検索の機能を追加。都心部のまち歩きをより快適に、よりワクワクするものとなりました。

また、これまでの現在地から選択した“OASIS SPOT”までルート検索ができるシステムから、現在地に関わらず本地区および一部周辺地区の対象範囲内で任意 2 地点を選び検索できるシステムにアップデートしました。



■ アップデートされた内容

- 地上・地下一体となったまち歩きルートの検索
- 任意の 2 地点間検索
- 地下マップ表示

※協力：NPO 法人リープ・ウィズ・ドリーム制作「大手町・丸の内・有楽町周辺地下マップ」を使用

TOKYO OASIS について

- ✓ “OASIS SPOT（魅力的な空間やまちアートなど）”の表示
- ✓ 天気や気分に合わせた任意 2 地点間の優先ルート（日なた/日陰/地上・地下一体/最短）の検索
- ✓ 検索したルート付近にあるオススメの“OASIS SPOT”の提案表示
- ✓ 座れる場所を表示
- ✓ 一本一本の樹木情報を表示
- ✓ 使用料無料
- ✓ 登録不要
- ✓ サイトを開いてすぐ使える
- ✓ 対応エリア：大丸有地区周辺
- ✓ 利用者アンケート実施（利用者ともちをつなぎ、サービス発展やまちづくりにフィードバック）

「TOKYO OASIS」URL はこちら：<https://tokyooasis.com>



＜これまでの TOKYO OASIS の主な機能＞

■ 日なた/日陰/最短のルート検索

人によって「快適性」を感じる要素は多種多様なため、好みに応じて日なた/日陰/最短からルートを選択できます。

日陰ボタンをタップすると、時間帯ごとの日陰予測表示もでき、ルート検索する際、予め日なた・日陰があるか見込めるので、その時の天気や気分に合わせてルート選びに活かすことができます。



■ 座れる場所の表示

まちの快適性として多くの支持を得ている“座れる場所”。

大丸有地区内には、約 700 基、総延長約 1.8km の座れる場所があります。その座れる場所がどんな空間なのか、調査に協力いただいた大学生の皆さんの座ってみた感想コメントを閲覧できます。

日陰と重ね合わせて、自分好みの空間を探すこともできます。



■ 樹木情報の表示

TREE モードに切り替えると、樹木一本一本の詳細情報を表示できます。

大丸有地区の“緑の豊かさ”の指標として、樹木の調査を実施しています。樹木情報として、位置、樹種、樹高、幹の太さの他、炭素貯蔵量、CO2 吸収量などをサービス上で見ることができます。



※数値解析協力

炭素貯蔵量、CO2 吸収量の数値解析は、東邦レオ株式会社（Green Tokyo 研究会）開発のシステムにて実施

Green Tokyo 研究会とは？

Green Tokyo 研究会は、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 横張教授の発案により、2019 年 9 月に設立された研究会です。NPO 法人や民間企業、オブザーバーとしての行政を含めた幅広いメンバーによる様々な都市緑地の評価ツールやデータベースを集約し、都市緑地の総合的な評価システムのプロトタイプを作成することを目指し推進しています。

【研究会の会員】

- ・東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻 教授 横張 真 [会長]
- ・筑波大学 システム情報系 教授 村上 暁信
- ・一般社団法人いきもの共生事業推進協議会 (ABINC)
- ・一般社団法人グリーンインフラ総研
- ・株式会社 IHI
- ・株式会社 プレック研究所
- ・気象予報士 根本 美緒
- ・NPO 法人 Green Connection TOKYO
- ・The Davey Tree Expert Company
- ・清水建設株式会社 技術研究所
- ・東邦レオ株式会社
- ・Pacific Spatial Solutions 株式会社
- ・株式会社 三菱地所設計
- ・一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会 (エコツェリア協会) [事務局]

順不同・敬称略

過去の TOKYO OASIS に関するプレスリリース

・環境データを活用した快適な外歩き WEB サービス「TOKYO OASIS」社会実験を 7 月 27 日（月）より開始
（2020 年 7 月 22 日配信）

<https://www.ecozzeria.jp/topics/daimaruyu/tokyo-oasis-0727.html>

・「みどりをつくる」から「みどりがつくる」時代へ まちの快適ってなんだろう？ アンケートで見えてきたのは「みどりがつなぐをつくる」
（2021 年 4 月 6 日配信）

<https://www.ecozzeria.jp/topics/daimaruyu/tokyo-oasis210406.html>

・環境データを活用した快適な外歩き WEB サービス「TOKYO OASIS」社会実験を 7 月 26 日（月）より再始動
（2021 年 7 月 26 日配信）

<https://www.ecozzeria.jp/topics/daimaruyu/tokyo-oasis210726.html>

【ご参考】大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体について

大手町・丸の内・有楽町地区は、公民協調によるサステイナブル・ディベロップメントを通じて、約 120ha のまち全域で「新しい価値」「魅力と賑わい」の創造に取り組んでいます。

大丸有まちづくり協議会を中心に公民でまちの将来像を合意し、リガールが賑わいや都市観光を促進、エコツェリア協会が社会課題の解決や企業連携によるビジネス創発を具体化しています。

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区
まちづくり協議会（大丸有まちづくり協議会）

再開発・街づくり・地権者合意形成

大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め、
東京の都心において持続的な発展に向けた取り組みを行っています。



一般社団法人 大丸有環境共生型
まちづくり推進協会（エコツェリア協会）

サステイナビリティ/Research & Development/ 環境共生

「経済」「環境」「社会」がバランスよく共存するまちを目指して、
大丸有地区に集う企業・就業者のコミュニティ形成や、
次世代への持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

※まちづくり 3 団体 ホームページ URL : <https://tokyo-omy.jp/>

NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会
（リガール）

エリアマネジメント運営

道路を始めとした公的空間の活用や、交流・環境などの活動を通じて、
大丸有地区のブランド向上に取り組んでいます。

【一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会）について】



2007 年設立。エコツェリア協会では、会社でも自宅でもない第 3 の場所「3×3Lab Future」を拠点として、「経済」「環境」「社会」をテーマに大手町・丸の内・有楽町（大丸有）地区のまちづくりを推進しています。大丸有地区に集う企業・就業者のコミュニティ形成や、次世代のサステイナブルな社会の実現に向けて、未来につながる持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

※エコツェリア協会ホームページ URL : <https://www.ecozzeria.jp/>

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区街づくり PR 事務局 共同ピーアール(株) PR アカウント本部 9 部 担当：内山・前山・高橋
TEL : 070-4303-7327 / 070-4303-7311 FAX : 03-6260-6653 E-mail : tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp